



新得町図書館

「新得(しんとく)」という地名、私はいつも夜の響きを感じます。札幌から特急で帯広、釧路方面に向かうと十勝の入口が新得です。札幌から 2 時間ぐらいで到着します。ではなぜ夜なのか？

東京にいた頃、札幌から夜行列車で道東や道北へ移動していました。手元の 1985 年 9 月号の時刻表によると、札幌を 22:20 発釧路行き急行「まりも」によく乗車しました。すると新得に 2:26 に到着。次の帯広では約 20 分停車します。静かな深夜、車内アナウンスで「次は新得です」と響くその瞬間が印象的だったのです。

帰り道もまた、新得を通る頃には空が暗くなっていることが多く、旭川や名寄といったほかの地名よりも、「新得」という響きが特別に感じられました。その余韻は今も脳裏に残っています。その後、何度か新得で下車していますが、今回は昨年 2024 年の訪問について綴ります。

まずはいつものようにランチから。新得といえば、やはり蕎麦！どこで食べるか迷いましたが、いつもランチは駅やバス停、図書館の近くで食べているので、今回は駅の近くで蕎麦をすりました。風味豊かで美味いね。スーパーのぞくと、「お中元に新得そば」と看板が。

残念ながら新得駅構内のそば屋はお休みでした。

駅から徒歩 10 分ほどで新得町図書館に到着します。

入館すると正面に賑やかな展示が。訪問時は「野菜作り・ガーデニング特集」。緑と白のクロスが敷かれたテーブルが上品な雰囲気を出し、本は寝かせたり、少し斜めにしたり、立てたりと、扇のように並べられていました。大きなパネルに書かれた見やすい看板もあり、工夫が凝らされています。

さらに、入館して左側の壁には、圧巻の絵本作家陣のサイン色紙がずらり。道内の図書館で、これほど多くのサイン色紙を展示しているのは珍しいかもしれません。何度も訪れている作家もいるようで、図書館の HP にはイベントの様子が一部掲載されていました。

<https://www.shintoku-town.jp/bunka-sports/bunka/toshokan/>

イベントは、図書館から徒歩 5 分ほどの新得町保健福祉センター「なごみ」で開催されている

とのこと。絵本や児童書への力の入れ方が伝わってきます。

建物自体は決して新しくはないものの、「やっているぞ！」という活気に満ちていました。

新得町は東京都の半分ほどの面積で人口は 5400 人ほど。北部にはトムラウシ地区があります。富村牛小学校と中学校が併設されています。

日本百名山に選定されているトムラウシ山は標高 2,141m。百名山の中で唯一山名がカタカナ。温泉もあります。新得駅から 57 キロ。トムラウシ地区まで移動図書館は巡回しています。35 年ほど前トムラウシ温泉を訪れた時、テレビは衛星放送しか見ることができなかった記憶があります。大雪山系の中にある地域です。

新得町は「全町教育」を推進しています。子どもに多くの町民が関わる教育活動に参加する取り組みです。決して子どもに関わるだけではなく、大人も学び合うことをモットーとしています。「全町教育」という方針を明確に打ち出しているからこそ、新得町図書館のように元気に活動できているのかもしれないね。

2024 年 6 月訪問

加藤 重男